

令和7年度 結果の分析及び今後の改善策

(計画(中間)最終)

安浦中学校区 校番23 学校名 呉市立安浦中学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
*** 確かな学力の向上	① 確かな学力主体的・対話的で深い学びを実現し、確かな学力の向上を図る。	学びの基礎・基本を定着させる。  思考力・判断力・表現力を高める。	学力調査等の知識・技能の正答率は、全国平均を下回っている。真面目に授業に取り組んでいるが、基礎的な内容が定着していない。出された宿題はやっているが、答えを写すだけで、学習内容を理解したり覚えたりしようとししない生徒もいる。  学力調査等の思考力・判断力・表現力の正答率も、全国平均を下回っている。まず基礎基本の定着を徹底していくと同時に、自分の考えを持ち、表現する活動を位置づけていく必要がある。	授業の中や安中タイムでタブレットドリルを活用し、基礎基本の定着を図る。家庭学習が定着していない生徒に対して、声かけや面談を行っていく。  根拠に基づいて自分の考えを持ち、自分の考えを広げ深める「学び合い」を位置づけた授業研究を進めていく。また、思考力・判断力・表現力を問う問題を解く機会を授業や定期テスト等で増やしていく。
* 防災教育	「自分の命は自分で守る」力を育成するとともに、地域の防災に貢献する。	保護者・地域と連携した防災教育を推進し、「自分の命は自分で守る」力を育成する。	防災教育、避難訓練等の取組みにより、防災に関する肯定的な評価が高く、防災意識の向上に一定の成果を上げることができた。引き続き、「自分の命は自分で守る」という意識付けを、学校と家庭で行っていきたい。	避難訓練の内容を応用的にするなど、意識向上だけでなく、災害発生時に結びつく具体的な指導を行っていき、家庭と学校の連携を密にするため、防災についての情報共有等を行っていく。
** 豊かな心	感謝と貢献の心を持ち、協働して取り組むことのできる心を育む。	仲間や学校、地域への感謝・貢献の心を育てる。  教育活動全体を通して礼節と規範意識を醸成する。	学校が楽しい、自分の住んでいる地域が好き、自分の良さは周りから認められていると答える生徒の割合が高く、学校、地域への感謝の心や愛着を感じられる結果となった。  挨拶、返事、身だしなみなど肯定的な回答をしている生徒が多いが、目指すレベルとは異なる生徒も多々おり、本校の伝統である、あいさつ、返事等の大切さを生徒に再度伝えなおしていく必要がある。	仲間や学校、地域への貢献という面に着目し、みちクリーン、ええとこ祭りなどの行事を通じて、仲間と協力すること、地域への貢献を実感させていく。  全校集会、学年集会等で、挨拶、返事の大切さや必要性を伝えていき、生徒が主体性を持って実践できるよう生徒会執行部に所属している生徒からも全校生徒に伝える機会を増やす。
業務改善	働き方改革を推進する。	生徒と向き合う時間を確保する。	生徒が主体的をもって授業や行事を進めることができるよう学校全体で意識統一を図り、指導にあたってきた。また、業務を精選し時間内で業務を行うよう醸成した。	生徒が主体となって学校を作りあげることができるよう外部の人材を活用しながら学校運営を行っていく。また、勤務時間内での業務の在り方を教職員で共有し、働き方改革をより一層推進させていく。
いじめの防止	安心・安全な学校風土を醸成する。	全ての生徒が安心して学べる環境を創造する。	クラスの中では、ホッとしたり、明るい気分になったりできるかという問いに肯定的な回答をした生徒が多いが、数人が否定的な回答をしていた。全校生徒が安心できる環境を構築していく必要がある。	生徒が安心して学校生活を送れるよう、アンケートを実施し、生徒の思いを理解したうえで面談を行うなど、生徒の思いに寄り添う姿勢を全教職員が大切にすする。